

政府陳情・研修報告書

平成 29 年 2 月 10 日

貝塚市議会議長 中山敏数 殿

自由市民 食野 雅由
田畑 庄司
田中 学

2 月 8 日 (水)

今回我々は、来年度の予算要望をする為、上京しました。

10 時 20 分頃に、参議院会館へ到着後、片山さつき参議院議員と 10 時 40 分～11 時 10 分まで、柳本卓治参議院議員と 11 時 15 分～45 分まで、北村つねお参議院議員の秘書の菅田氏と 11 時 50 分～55 分まで、自見はな子参議院議員と 12 時～13 時まで、陳情をこなしました。



片山さつき参議院議員と

柳本卓治参議院議員と

自見はな子参議院議員と

参議院会館での要望が終了後には、第 1 衆議院会館へ行き、地元選出の谷川とむ衆議院議員の事務所で、各省庁の担当者にお越しいただき、陳情と研修をしました。

14 時～15 時は、社会資本及び交通基盤の着実な整備について、国土交通省の道路局環境安全課と社会資本整備総合交付金等総合課調整室と鉄道局鉄道事業課地域鉄道支援室の担当者からレクチャーを受け、水間鉄道や道路及び橋梁補修費などについて予算付けの陳情を行いました。この中で水間鉄道の要望については、観光庁のインバウンド関連の予算があることを聞き、早速担当課に伝えて予算獲得の助言をしたいと思います。

15 時 30 分～16 時 30 分は、地域防災対策の推進について、国土交通省の住宅局市街地建築課と都市局都市計画課そして内閣府の政策統括官、総務省の消防庁国民保護防災部防災課と自治財政局地方債調整係から、国の考え方などのレクチャーを受け、泉州山手線の早期着工と庁舎建替えなど公共施設に対する補助金の安定的な財政措置について陳情を行いました。泉州山手線については、大阪府からまだ案件が上がって来ていないとのことでしたので、貝塚市の現状、特に用地買収等はある程度整っていることと、せんごくの社の重

要性を説明し岸和田市より先行しての着工を強く要望しました。感触として我々の訴えは理解してもらったと感じました。



谷川代議士と省庁に要望

岡下代議士、表氏と

西村代議士、表氏と

17時には、自民党筆頭副幹事長**西村やすとし**衆議院議員の事務所へ行き、17時10分～40分まで、今後の神楽観光並びに神楽議員連盟についての要望を行いました。観光エンタメマイスターの**表ひろあき**先生にも、同席して頂き今後の進め方について意見交換をしました。

神楽観光については、我々が進めるクルーズ船誘致のアイテムとして、泉州の観光とともに神楽も観光の目玉にしたいと考えているので有意義であったと思いました。**西村やすとし**衆議院議員から、「神楽議員連盟の事務局長には、**谷川とむ**衆議院議員を指名したい」と申し出があり、**谷川とむ**衆議院議員に要請する事になりました。また、3月頃に神楽の勉強会を予定しているとの事でした。

17時45分～18時20分までは、堺市選出の**岡下昌平**衆議院議員の事務所で、クルーズ船についての進捗状況などの意見交換をしました。クルーズ船誘致は、今年の秋に1船目が堺大浜港に来るのを目指していましたが、大阪府の動きが鈍く、来年の春になったと**岡下昌平**衆議院議員は落胆されていました。堺大浜港に来るのが遅れば遅れるほど、貝塚港に来るのが遅れます。3月には、大阪府の職員も呼んで勉強会をするそうなので参加したいと思います。これをもってこの日の予定は終了しました。

2月9日（木）

この日は、7時50分に自民党本部へ行き、8時～9時まで、外交部会・外交・経済連携本部合同会議が行われていたので、勉強会に参加しました。自民党の国会議員は、毎朝勉強されているので、我々地方議員も見習わなければならないと感じました。

終了後、**谷川とむ**衆議院議員と総務省へ出向き、11時～11時30分まで、**原田けんじ**総務副大臣に面会をし、特別地方交付税の陳情をしました。**原田けんじ**副大臣とは、自民党大阪府連所属なので和気あいあいのなか特別交付税の陳情をしました。

11時45分～13時10分までは、参議院議員の**北村つねお**副幹事長と昼食をし、先般の木積土地改良区視察のお礼と今後の進め方などについてアドバイスをいただき、協力をお願い

しました。



原田総務副大臣と

北村参議院議員と

厚労省へ予算要望

昼食後、谷川とむ事務所へ戻り、13時30分～14時30分は、地方創生の推進について、内閣府の内閣官房まち・ひと・しごと創生本部と、厚生労働省の雇用均等児童家庭局母子保護課からレクチャーを受け、意見交換と要望をしました。その中で、地方創生などの事業に対して補助率の変更などをされると恒久的に事業を継続するのが難しくなるので、先駆性のあるものについては、恒久的に財政措置をして欲しい。また、不妊治療についても少子化対策と捉えて、国主導で補助率アップと申請手続きの簡素化を要望しました。

15時～16時までは、保険・医療費助成制度の拡充について、厚生労働省の雇用均等児童家庭局家庭福祉課と健康局健康課予防接種室からレクチャーを受け、予防接種や感染症対策、ひとり親家庭へ対する支援などは、地域間格差が出来ないように国主導で行って欲しいと要望しました。

2日間で多くの国会議員への要望と、各省庁の研修ができました。これを貝塚市の発展につなげていきたいと考えます。以上、今回の陳情書を添付し報告と致します。